

高校入試過去問(大成) (R3) 年数学

(100点満点 (50 分))

1.

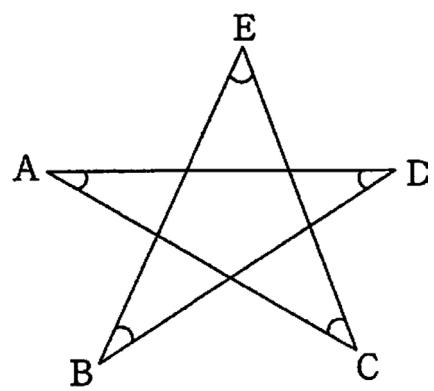
(1) $(2x - 2)(x + 1) - (x - 1)(4x + 1)$ を計算すると、

□□ $x^2 + \square x - \square$ である。

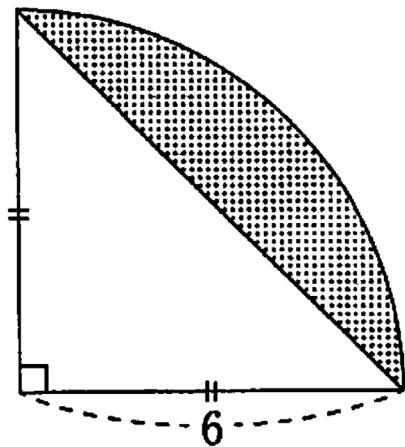
(2) $\frac{24}{x}$ が正の整数となる整数 x は □ 個である。

(3) 二次方程式 $x^2 + ax - 1 = 0$ の解の 1 つが 2 であるとき、もう 1 つの解は $x = \frac{\square \square}{\square}$ である。

- (4) 右の図の角A, B, C, D, Eの大きさをすべて足すと、
四回四度である。



- (5) 右の図は半径6, 中心角90度の扇形と2つの辺の長さが6の直角
二等辺三角形を重ねたものである。
このとき, 塗りつぶした部分の面積は $\frac{\pi}{4}$ 四回である。



- (6) 2個のさいころを同時に投げるとき, 目の和が4の倍数となる確率は $\frac{1}{6}$ 四回である。

2.

赤玉3個、青玉2個、白玉1個が入っている袋がある。この袋から同時に2個取り出すとき次の
問い合わせに答え、空欄□から団にあてはまる数や符号を解答用紙にマークしなさい。

- (1) 取り出した玉の色の出方は団通りである。
- (2) 取り出した玉が2個とも赤玉となる確率は $\frac{□}{□}$ である。
- (3) 取り出した2個の玉が異なる色となる確率は $\frac{□}{□□}$ である。

3.

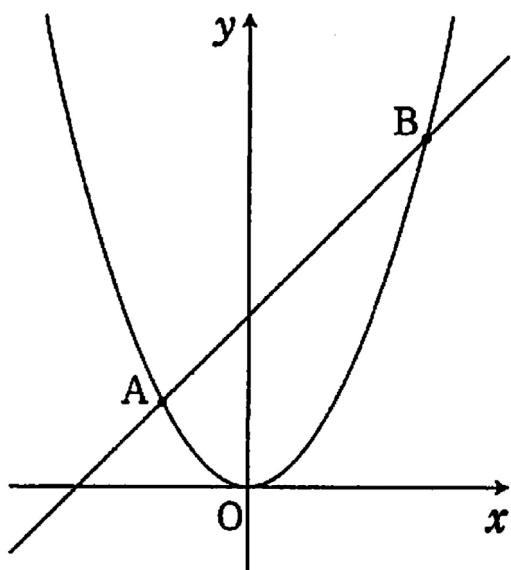
長さ30cm以下の紙テープA（以下Aと呼ぶ）と長さ80cmの紙テープB（以下Bと呼ぶ）がある。Aを3cm間隔で切っていくとn枚できて1cm余り、5cm間隔にしてAを切っていくと1cm余りができる。また、Aをx等分したものとBをy等分したものをそれぞれ1つずつ合わせて長さを測ると1cmになり、Aをy等分したものとBをx等分したものをそれぞれ1つずつ合わせて長さを測ると2.6cmになる。このとき、次の問いに答え、空欄団から団にあてはまる数や符号を解答用紙にマークしなさい。

- (1) Aの長さをnを用いて表すと団n+団cmである。
- (2) Aの長さは団cmである。
- (3) xの値は団である。

4.

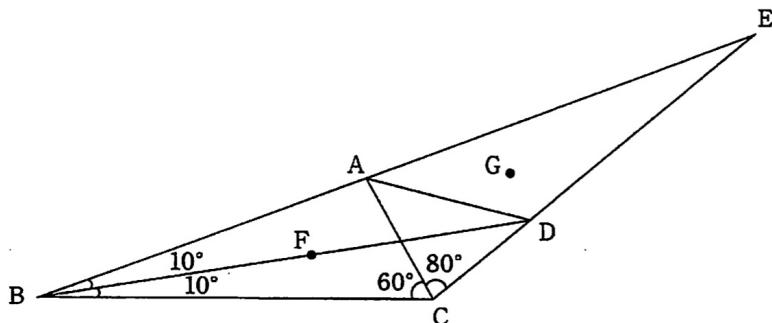
右の図のように直線 $y = x + 8$ と放物線 $y = ax^2$ の交点を A, B とする。点 A, 点 B の x 座標をそれぞれ -4, 8 とする。放物線上の点 A と点 B の間を点 P が動くとき、次の問いに答えなさい。

- (1) a の値を求めなさい。
- (2) $\triangle ABO$ の面積を求めなさい。
- (3) $\triangle ABO$ と $\triangle ABP$ の面積比が 4 : 3 となるような点 P の x 座標の値をすべて求めなさい。



5.

以下の図のように $\angle ABD = \angle CBD = 10^\circ$, $\angle ACB = 60^\circ$, $\angle ACD = 80^\circ$ の四角形ABCDがあり、直線ABと直線CDとの交点をEとする。また線分BD上に $\angle BCF = 20^\circ$ となる点をF, $\triangle AEC$ の内部に正三角形ACGとなる点をGとする。このとき、次の問い合わせに答えなさい。



- (1) $\angle AEC$ の大きさを求めなさい。
- (2) 下の三角形の中で合同な三角形を2つ選び記号で答えなさい。
(ア) $\triangle ABC$ (イ) $\triangle ABD$ (ウ) $\triangle ACE$
(エ) $\triangle BCD$ (オ) $\triangle CBF$ (カ) $\triangle CEG$
- (3) $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。

6.

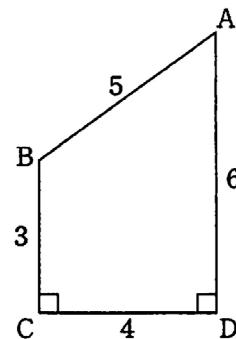
右の図のような $AB = 5$, $BC = 3$, $CD = 4$, $DA = 6$ で
 $\angle BCD = \angle ADC = 90^\circ$ の台形 $ABCD$ がある。

これを次のように回転させて 2 つの回転体を作る。

- (ア) 直線 AD を軸として回転させてできる立体
- (イ) 直線 BC を軸として回転させてできる立体

このとき次の問に答えなさい。

- (1) 回転させてできた立体(ア), (イ)のうち, 体積が大きいほうの体積を求めなさい。なお, (ア), (イ)の体積が等しい場合は, その体積を答えなさい。
- (2) 回転させてできた立体(ア), (イ)のうち, 表面積が大きいほうの表面積を求めなさい。なお, (ア), (イ)の表面積が等しい場合は, その表面積を答えなさい。



高校入試過去問(大成) (R3)年数学

(100点満点 (50分))

1.

- (1) $(2x-2)(x+1)-(x-1)(4x+1)$ を計算すると、

$\boxed{x^2} + \boxed{x} - \boxed{4}$ である。

$$\begin{aligned} &= 2x^2 + 2x - 2x - 2 - (4x^2 + x - 4x - 1) \\ &= -2x^2 + 3x - 1 // \end{aligned}$$



— () () の
計算で符号
チェックしお忘れなさい。

- (2) $\frac{24}{x}$ が正の整数となる整数 x は 4個 である。

x は 24 の約数 となるので

1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24 の 8個 //



1 ~ 順に代入
しても良いくらい
他の問題に
対応できな
ので 約数で
考えよう！

- (3) 二次方程式 $x^2 + ax - 1 = 0$ の解の 1 つが 2 であるとき、もう 1 つの解は $x = \frac{\boxed{1}}{\boxed{-1}}$ である。

もう 1 つの解を α とすると、 $x^2 + ax - 1 = 0$ は、

因数分解すると $(x-2)(x-\alpha) = 0$ となる。

$$x^2 - (2+\alpha)x + 2\alpha = 0$$

係数比較して $\begin{cases} -(2+\alpha) = a \dots ① \\ 2\alpha = -1 \dots ② \end{cases}$ ②より $\alpha = x = -\frac{1}{2}$ //



二次方程式の解が α, β であるとき

$(x-\alpha)(x-\beta) = 0$ と因数分解ができる。

- (4) 右の図の角A, B, C, D, Eの大きさをすべて足すと、
図の度である。

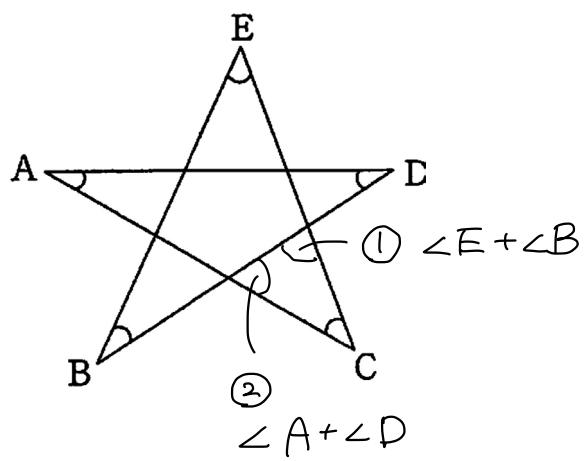
外角の性質より

$\angle E + \angle B$ の和と

$\angle A + \angle D$ の和が図の位置に。

∴ 1つの三角形の内角の和は 180°

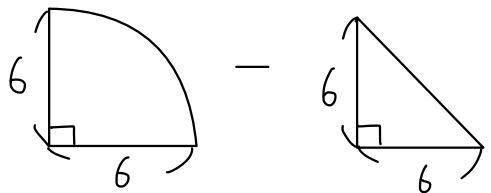
$$\underline{180^\circ} //$$



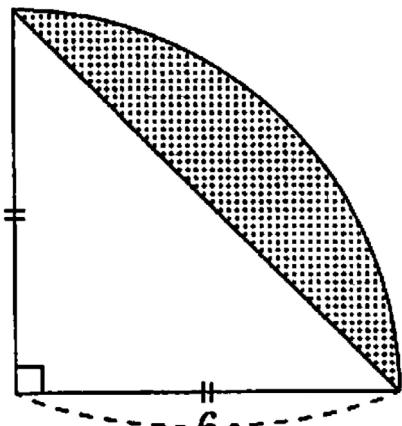
- (5) 右の図は半径6, 中心角90度の扇形と2つの辺の長さが6の直角

二等辺三角形を重ねたものである。

このとき、塗りつぶした部分の面積は $\pi - \frac{1}{4}$ である。



$$\begin{aligned}
 &= \pi \times 6^2 \times \frac{1}{4} - 6 \times 6 \times \frac{1}{2} \\
 &\quad (\text{円の } \frac{1}{4}) \\
 &= \underline{9\pi - 18} //
 \end{aligned}$$



- (6) 2個のさいころを同時に投げるとき、目の和が4の倍数となる確率は $\frac{9}{36}$ である。

① 和の変域は 2 以上 12 以下

② 和が 4 の倍数な目は 4, 8, 12 の 3 通り

2個の出目を (a, b) とすると、

$$(a, b) = (1, 3) (2, 2) (3, 1)$$

$$= (2, 6) (3, 5) (4, 4) (5, 3) (6, 2)$$

$$= (6, 6)$$

$$\frac{9}{36} = \frac{1}{4} //$$

2.

赤玉3個、青玉2個、白玉1個が入っている袋がある。この袋から同時に2個取り出すとき次の
問い合わせに答え、空欄図から図にあてはまる数や符号を解答用紙にマークしなさい。

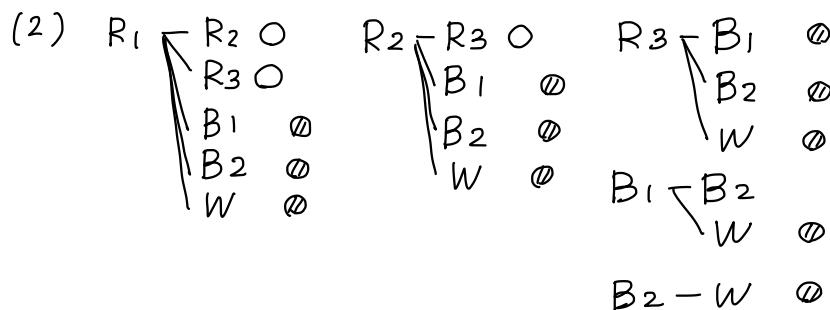
(1) 取り出した玉の色の出方は図通りである。

(2) 取り出した玉が2個とも赤玉となる確率は $\frac{1}{10}$ である。

(3) 取り出した2個の玉が異なる色となる確率は $\frac{9}{10}$ である。



(1) $R \begin{cases} R \\ B \\ W \end{cases} \quad B \begin{cases} B \\ W \end{cases}$ の 15通り //



左の樹形図から全15通り
概当は○の3通りあるので $\frac{3}{15} = \frac{1}{5}$ //

(3) (2)の樹形図のうち ⓪ でチェックすると、

11通り $\frac{11}{15}$ //

3.

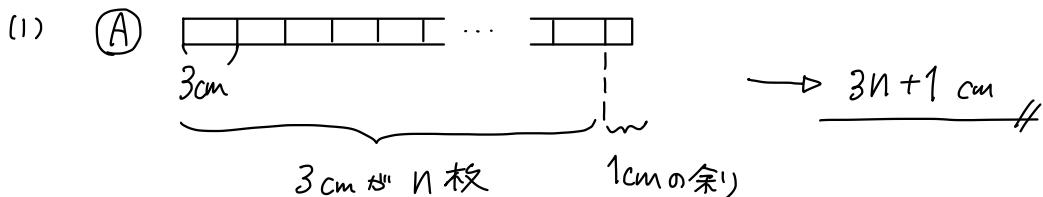
長さ30cm以下の紙テープA（以下Aと呼ぶ）と長さ80cmの紙テープB（以下Bと呼ぶ）がある。

Aを3cm間隔で切っていくとn枚できて1cm余り、5cm間隔にしてAを切っていくと1cm余りができる。また、Aをx等分したものとBをy等分したものをそれぞれ1つずつ合わせて長さを測ると1cmになり、Aをy等分したものとBをx等分したものをそれぞれ1つずつ合わせて長さを測ると2.6cmになる。このとき、次の問いに答え、空欄□から団にあてはまる数や符号を解答用紙にマークしなさい。

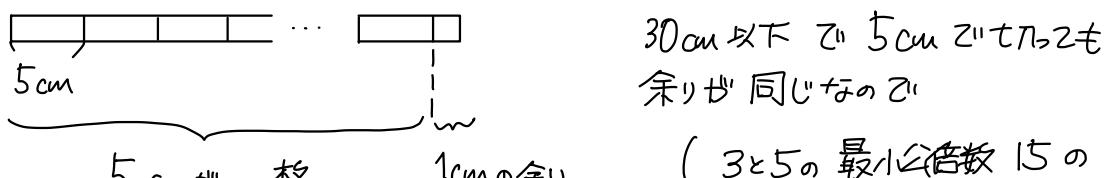
(1) Aの長さをnを用いて表すと□n+□cmである。

(2) Aの長さは□cmである。

(3) xの値は□である。



(2)



30cm以下で 5cmで n枚余りが同じなの
(3と5の最小公倍数 15の倍数) + 1 cm

$$\therefore 15 + 1 = 16 \text{ cm}$$

問題文

$$(3) ① \text{より } \frac{16}{x} + \frac{80}{y} = 1$$

$$② \text{より } \frac{16}{y} + \frac{80}{x} = 2.6 = \frac{26}{10} = \frac{13}{5}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{16}{x} + \frac{80}{y} = 1 \\ \frac{16}{y} + \frac{80}{x} = \frac{13}{5} \end{array} \right. \quad \frac{16}{x} = X, \frac{16}{y} = Y \quad \text{とおくと}$$



文字が分母にある場合、

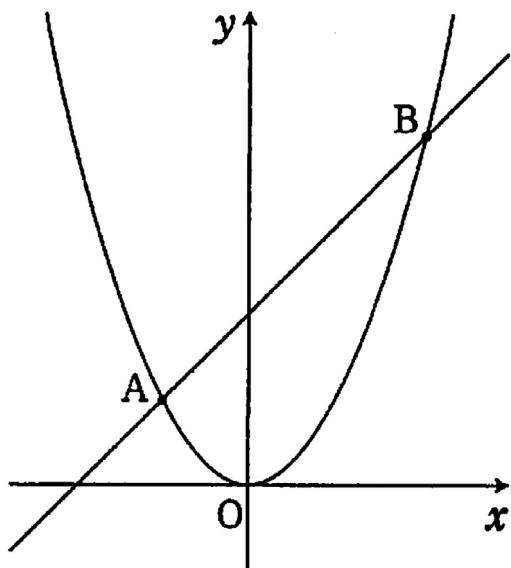
$\frac{1}{x} = X, \frac{1}{y} = Y$
のようにおいて
考える！

$$\left\{ \begin{array}{l} X + 5Y = 1 \\ 25X + 5Y = 13 \end{array} \right. \quad \text{より } X = \frac{1}{2} \quad \text{などの } \quad Y = 32$$

4.

右の図のように直線 $y = x + 8$ と放物線 $y = ax^2$ の交点を A, B とする。点 A, 点 B の x 座標をそれぞれ -4, 8 とする。放物線上の点 A と点 B の間を点 P が動くとき、次の問いに答えなさい。

- (1) a の値を求めなさい。
- (2) $\triangle ABO$ の面積を求めなさい。
- (3) $\triangle ABO$ と $\triangle ABP$ の面積比が 4 : 3 となるような点 P の x 座標の値をすべて求めなさい。

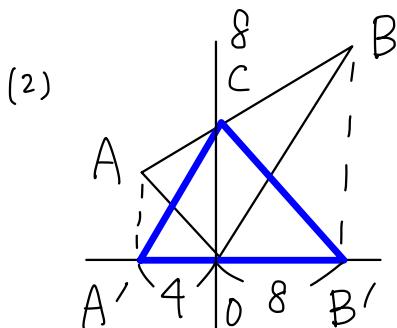


(1) A, B は $y = x + 8$ 上の点なので
 $A(-4, 4)$ $B(8, 16)$ となる。

$y = ax^2$ 上の点でもあるので

$$(-4, 4) \text{ を代入し } 4 = a \times 16$$

$$a = \frac{1}{4}$$

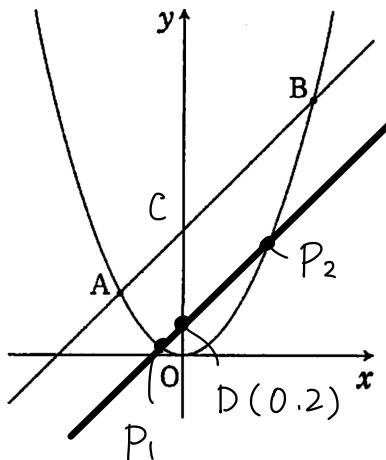


AB の式は、 $y = x + 8$ なので $C(0, 8)$ 。

$\triangle OAB$ を等積変形し、

$$\begin{aligned} \triangle OAB &= \triangle A'B'C \\ &= A'B' \times OC \times \frac{1}{2} \\ &= 12 \times 8 \times \frac{1}{2} = 48 \end{aligned}$$

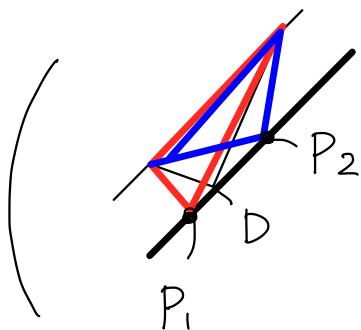
- (3) $\triangle ABO$ と $\triangle ABP$ の面積比が $4 : 3$ となるような点 P の x
座標の値をすべて求めなさい。



④ y 軸上の点 D が、 $OC : CD = 4 : 3$ となるようにとると、
 $C(0, 8)$ なので $D(0, 2)$

④ D を通り AB に平行な直線
と放物線との 2 つの交点
 P_1, P_2 が求める座標となる。

理由



$\triangle DAB$ を等積変形すると
面積が等しいことがわかる。

④ D の式を求める。

$D(0, 2)$ を通り、傾きは AB に等しいので $y = x + 2$

P_1, P_2 の座標は $\begin{cases} y = \frac{1}{4}x^2 \\ y = x + 2 \end{cases}$ を解くとする。

$$\frac{1}{4}x^2 = x + 2 \quad | \times 4$$

$$x^2 = 4x + 8$$

$$x^2 - 4x - 8 = 0$$

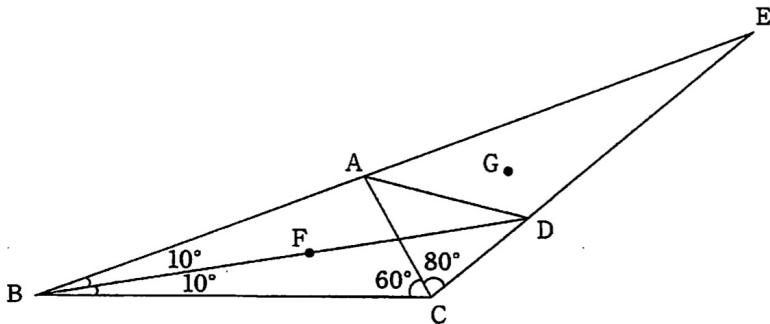
$$x = \frac{-4 \pm \sqrt{(-4)^2 + 32}}{2}$$

$$= \frac{4 \pm \sqrt{48}}{2} = \frac{4 \pm 4\sqrt{3}}{2} = 2 \pm 2\sqrt{3}$$

$\therefore P$ の x 座標は $2 \pm 2\sqrt{3}$

5.

以下の図のように $\angle ABD = \angle CBD = 10^\circ$, $\angle ACB = 60^\circ$, $\angle ACD = 80^\circ$ の四角形ABCDがあり、直線ABと直線CDとの交点をEとする。また線分BD上に $\angle BCF = 20^\circ$ となる点をF, $\triangle AEC$ の内部に正三角形ACGとなる点をGとする。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

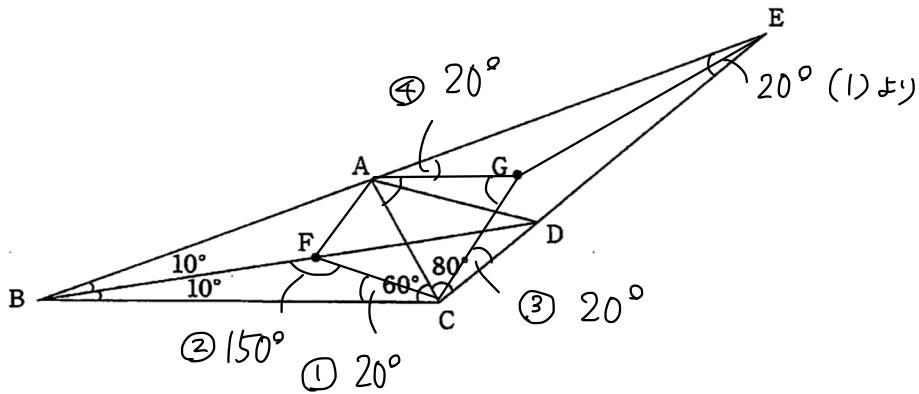


- (1) $\angle AEC$ の大きさを求めなさい。
- (2) 下の三角形の中で合同な三角形を2つ選び記号で答えなさい。
 - (ア) $\triangle ABC$
 - (イ) $\triangle ABD$
 - (ウ) $\triangle ACE$
 - (エ) $\triangle BCD$
 - (オ) $\triangle CBF$
 - (カ) $\triangle CEG$
- (3) $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。

(1) $\triangle EBC$ の内角の和 $= 180^\circ$ より

$$20 + (60 + 80) + \angle AEC = 180^\circ \quad \underline{\angle AEC = 20^\circ} //$$

(2)



① 問題文より $\angle BCF = 20^\circ$

② $\angle ABC = \angle AEC = 20^\circ$ より

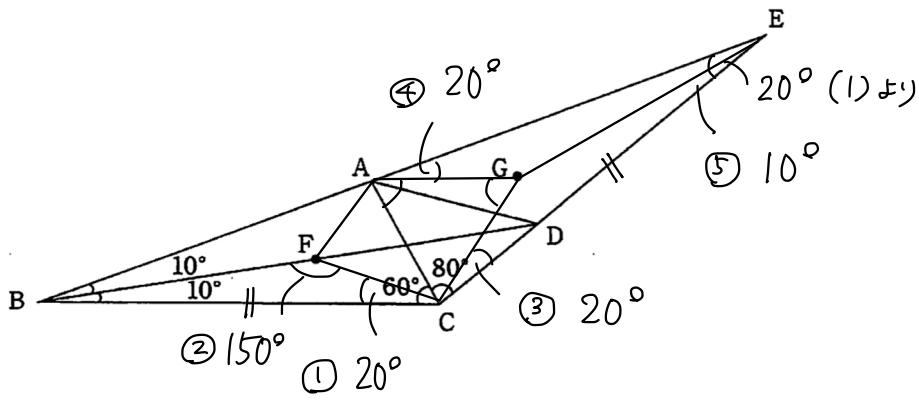
$\triangle CBE$ は $CB = CE$ の二等辺三角形

③ $\angle GCE = \angle ACD - \angle ACG$

$$= 80^\circ - 60^\circ = 20^\circ = \angle BCF \text{ (①)}$$

④ $\angle EAG = \angle EAC - \angle GAC = 80^\circ - 60^\circ = 20^\circ$

→ 続き



③, ④ より $\triangle AGE \cong \triangle CGE$ なので

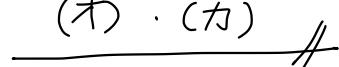
$$\angle GEC = \angle GE A = 20 \div 2 = 10^\circ \dots \textcircled{5}$$

以上 ①, ②, ③, ⑤ より

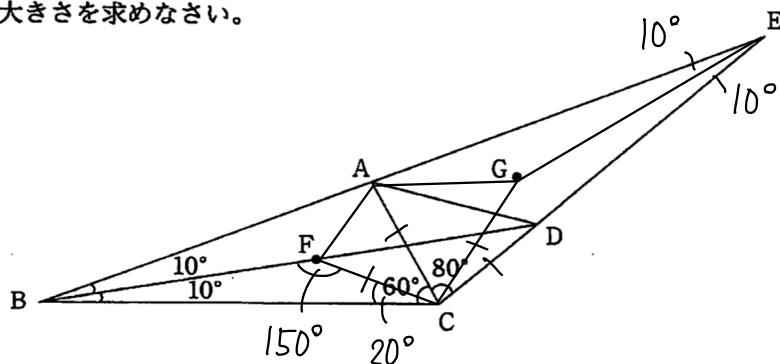
1組の辺とその両端の角がそれぞれ山等しいので

$$\triangle FBC \cong \triangle GEC$$

(力) · (力)



(3) $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。



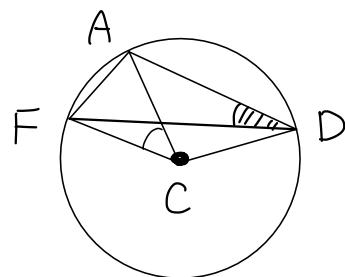
$$CF = CG = AC \quad (\triangle ACG \text{ は正三角形} \text{ と (2) より}) \dots \textcircled{1}$$

$$CF = CD \quad (\angle CFD = \angle CDF = 30^\circ) \dots \textcircled{2}$$

△CBF の外角の性質 △BDE の外角の性質

①, ② より

$CF = CA = CG = CD$ で C を中心とした半径 CF の円が描ける。



$\angle ACF$ は \widehat{AF} の中心角で 40°

$\angle FCA$ は \widehat{AF} の円周角なので $40 \div 2$

$$= 20^\circ$$



6.

右の図のような $AB = 5$, $BC = 3$, $CD = 4$, $DA = 6$ で
 $\angle BCD = \angle ADC = 90^\circ$ の台形 $ABCD$ がある。

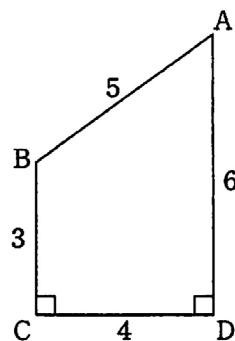
これを次のように回転させて 2 つの回転体を作る。

- (ア) 直線 AD を軸として回転させてできる立体
- (イ) 直線 BC を軸として回転させてできる立体

このとき次の問に答えなさい。

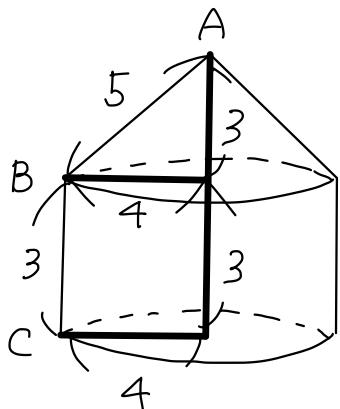
(1) 回転させてできた立体(ア), (イ)のうち, 体積が大きいほうの体積を求めなさい。なお, (ア), (イ)の体積が等しい場合は, その体積を答えなさい。

(2) 回転させてできた立体(ア), (イ)のうち, 表面積が大きいほうの表面積を求めなさい。なお, (ア), (イ)の表面積が等しい場合は, その表面積を答えなさい。



(1)

(ア)



上の円錐の体積

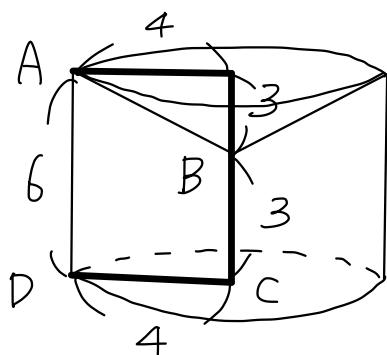
$$= \pi \times 4^2 \times 3 \times \frac{1}{3} = 16\pi$$

下の円柱の体積

$$= \pi \times 4^2 \times 3 = 48\pi$$

$$16\pi + 48\pi = \boxed{64\pi}$$

(イ)



大きい円柱の体積

$$= \pi \times 4^2 \times 6 = 96\pi$$

小さい円柱の体積

$$= \pi \times 3^2 \times 4 \times \frac{1}{3} = 12\pi$$

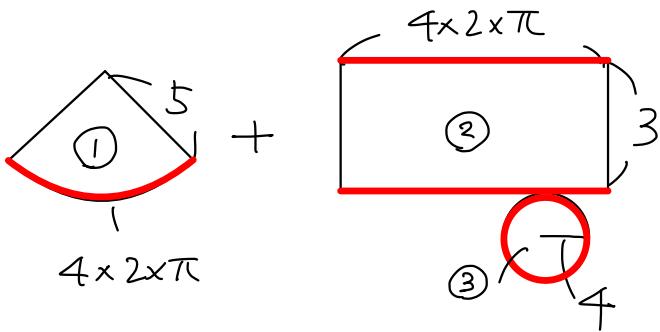
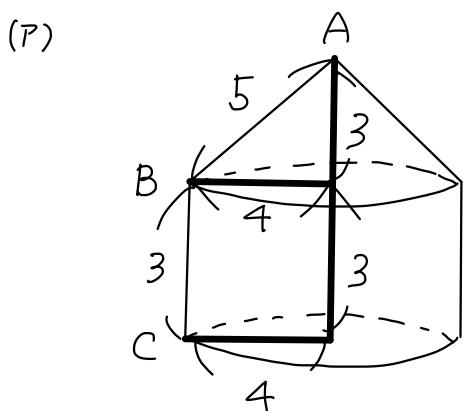
$$96\pi - 12\pi = \boxed{84\pi}$$

要点

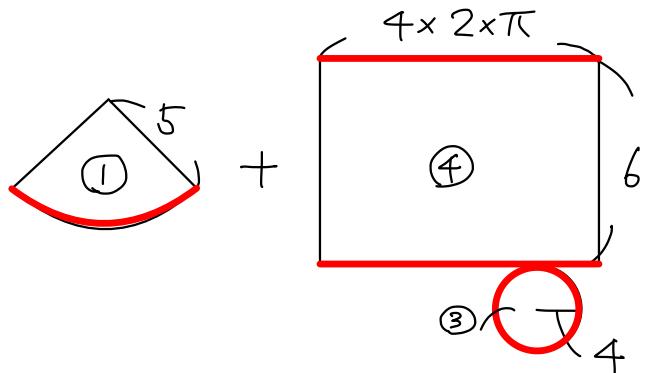
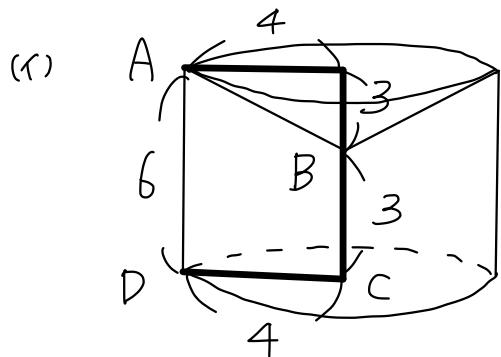
様々な图形を
表せるようにして
おこう！

以上より 大きい (イ) の
体積は 84π //

(2) 回転させてできた立体(ア), (イ)のうち, 表面積が大きいほうの表面積を求めなさい。なお, (ア), (イ)の表面積が等しい場合は, その表面積を答えなさい。



※ 太線(赤)の長さは等しい。



$$\textcircled{1} = \pi \times 5^2 \times \frac{4 \times 2 \times \pi}{5 \times 2 \times \pi} = 20\pi$$

$$\therefore (\textcircled{P}) = \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} = (20 + 24 + 16)\pi = 60\pi$$

$$(\textcircled{I}) = \textcircled{1} + \textcircled{4} + \textcircled{3} = (20 + 48 + 16)\pi = 84\pi$$

以上より 表面積が大きいのは、(イ)で 84π //

重要

「差を求めなさい」という問題なら
図もかかずには側面積の差でおしまいです！